2019年　7月　17日（水）　音更町立緑南中学校「軒昂」　第1号

体育祭
～B組の団結力とパワー～

令和元年五月二十五日、三年生にとっては最後となる体育祭が行われた。体育祭の前日、横ムカデの練習中男女ともに激しく転んでしまい、三人ほど早退してしまった。翌日の本番に不安が高まった。

しかし当日は欠席者もなく全員が体育祭に来ることができた。午前中の競技は順調だったが、午後、前日の練習でうまくいかなかった横ムカデの競技となった。みんな足のひもを縛り、足を合わせてペースを確認する。「パンッ」スタートのピストルが鳴って十数秒後女子は転ばずにゴールした。順位は同着一位。うれしさのあまり泣いている人もいた。男子は出場できなかった人もいたが、転ばずに二位でゴール。

そしてチームジャンプは去年の記録を更新して、総合優勝を獲得した。今までクラス内でもめたりしたが、それがあったから優勝できたと思う。最後の体育祭で、B組の団結力と、パワーを感じさせるものとなった。（生天目）

体育祭当日の集合写真。みんなの気合いが伝わってきました。（五月二十五日午後）

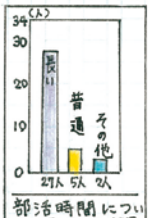
交通安全を考え直す

最近、何の落ち度もない歩行者が巻き込まれる気の毒な事故が相次いでいる。

五月八日に滋賀県で起こった事故では、被害にあったのは保育園児と数名の先生だった。確かにこのような事故は私たちの注意では防ぎきれない。だからといって、私たちが交通安全に注意しなくてもよいわけではない。私たちの中にも横断歩道を自転車に乗ったまま渡ったり、通学路ではない道路を通ったり、交通安全を軽く考えている人もいる。交通事故のニュースを「気の毒な出来事」で終わらせることなく、危険な自転車の乗り方や歩き方をしていないか、もう一度考え直す必要がある。そして今後、もう二度と、悲しい事故が起こらないことを願いたい。（山ノ内）

ブラック部活
ーみんなの本音ー

皆さんは「ブラック部活」という言葉を知っているだろうか。長時間、休みの日のない部活などを指す言葉だ。ニュースなどでは、土日で一日、平日で一日の休みを作ったりする動きがあるらしい。それでは緑南中学校ではみんなどのように感じているのだろうか、学級でアンケートを行った。その結果が次のグラフだ。



部活時間についてのアンケート結果

活動時間が長いと感じている人が多いようだ。ある顧問の先生に聞いたところ「大会が近い時期では活動時間が増えるが、テスト前や、夏・冬休みで休んでいるので、年間ではルール通りの休みの数になる」とのことだった。ただ、やはり休みがなく部活が続くと疲れはたまってしまう。本音としては、大会前でも週に一日以上は休みがあるとうれしい。自分たちの考えも、先生方に伝える必要があるのではないかと思う。（伊藤）

五月一日から始まった新元号「令和」。この元号は「万葉集」からとられ、初めて日本の古典から選定された。

私たちの学年では今年三月に「新元号を予想する」という企画が行われた。すると、「安」という字を使って予想する人がたくさんいた。平成は東日本大震災などの災害が多く、次の時代は災害のない時代になってほしいと考えた人が、多かったということだろう。「令和」が災害のないみんなが幸せになれる時代になることを願う。

最後に、企画で一番「令和」に近い予想をした人を紹介したい。佐瀬くん「文和」、矢萩くん「永和」。そして一番予想した人が多かった元号は「安久」だった。なかなか「令和」は思いつかないようだ。（新鞍）

中学校生活最大の行事
修学旅行

中学校生活最大の行事修学旅行が四月十九日から二十一日に行われた。その修学旅行の中であった自主研修で一番印象に残った所を学級内でアンケートをとった。結果一番多かったのは浅草寺だった。理由は大勢の人がいたからだ。皆さんも、人混みには気をつけてほしい。（石川）

進路

今、皆さんは自分の進路のことについて真剣に考えているだろうか。「進路」とは自分の将来のことについてだ。中学三年生にもなれば、そろそろ高校受験を真剣に考える時期である。しかし、将来の自分が何になりたいかを考えなければ、高校選びに失敗してしまうかもしれない。また、将来の夢や目標が決まれば努力する気持ちも高まるだろう。残された時間は少ない。自分の将来をそろそろ考える時期がきている。（荒堀）

編集後記

今回の新聞は、班員全員が記事を書けるようにレイアウトを工夫しました。そして、今回は三年B組のみなさんに考えてもらう内容を増やしたので、新聞をきっかけに、いろいろと考えてみて下さい。（杉田）